

**製品名: PPP1CB マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81350**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PPP1CB
別名	PP1B; PP-1B; PPP1CD; PP1beta
遺伝子 ID	5500.0
SwissProt ID	P62140
免疫原	大腸菌で発現したヒト PPP1CB (AA: 174-327) の精製された組み換え断片。

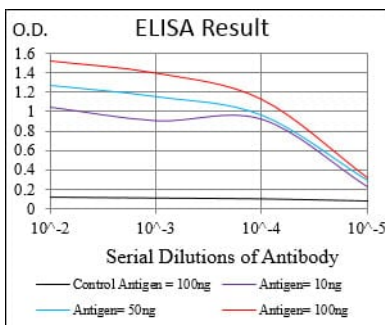
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質ホスファターゼ 1 (PP1) の3つの触媒サブユニットの1つです。PP1はセリン/スレオニン特異的なタンパク質ホスファターゼであり、細胞分裂、グリコーゲン代謝、筋収縮、タンパク質合成、HIV-1 ウイ

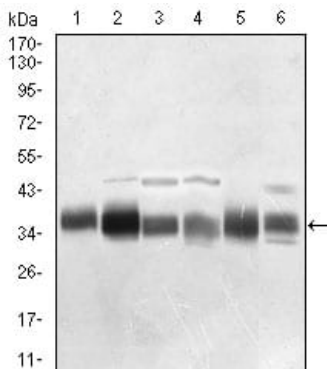
ルスの転写など、様々な細胞プロセスの制御に関与することが知られています。マウスを用いた研究では、PP1が学習と記憶の抑制因子として機能することが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする2つの選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。

## 研究分野

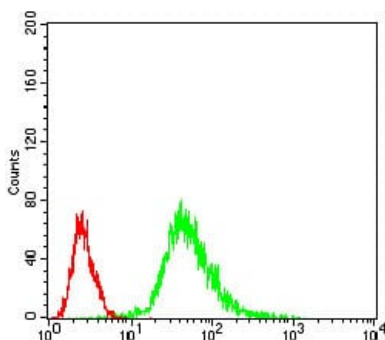
## 画像データ



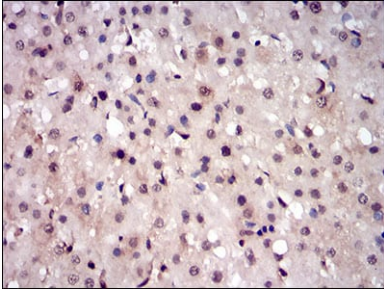
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



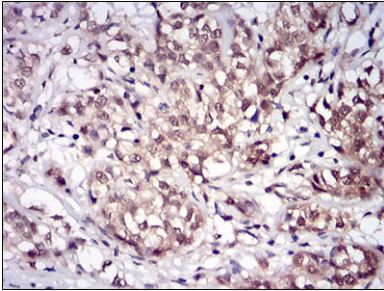
Jurkat (1)、A431 (2)、Hela (3)、HepG2 (4)、HEK293 (5)、MCF-7 (6) 細胞溶解物に対するPPP1CB マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



PPP1CB マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による PPP1CB マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による PPP1CB マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。